



江戸幕府最後の将軍・徳川慶喜も愛した、弟・昭武が建てた徳川の住まいとお庭

戸定邸と庭園



松戸駅からほど近く、徳川慶喜（よしのぶ）の弟・徳川昭武（あきたけ）が建てた私邸。建物は国の重要文化財に、庭園は国の名勝に指定されています。徳川家の住まいとしては、国内で唯一、一般公開されています。「松戸の宝」ともいえる存在です。（戸定歴史館（とじょうれきかん）☎ 047-362-2050）

都心に近いのに

歴史が息づいています

徳川の住まい「戸定邸」をはじめ、江戸時代の宿場町の面影を残す場所、多くの人の手で守られてきた桜など、歴史や文化が今も大切に受け継がれています。



まつどは「歴史・文化を守つていて」だから、やさしい



さくら通りと名付けられた数々の桜並木から、凛と咲き誇る一本桜まで

桜並木と一本桜

八柱・新八柱駅から常盤平駅前を通り五香駅へと約3kmも続く桜並木をはじめ、戸定邸やお寺などに咲く一本桜、川面を彩る桜など、大切に守られてきた数々の桜が春の松戸市内を彩り、各地で桜まつりが開催されます。

観光大使も務める私が思う松戸市のイメージは、「さくらの街」。市内各所で、さまざまな表情をした桜に出会えますよ！ラボのホームページの記事『松戸は、実は『さくらの街』なのです！！』をどうぞ(^^)/（まつどやさしい暮らしラボ市民プロジェクトメンバー & 市民記者・馬場浩士さん）

